

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2025No.392】（HP 収載）

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

曲名：交響曲第 41 番ハ長調 K. 551 《ジュピター》

演奏：ジョルディ・サヴァール指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/56351>

2025 年 12 月 7 日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



サヴァールがモーツァルト《ジュピター》でベルリンフィルにデビュー

ジョルディ・サヴァールはモーツァルトのきらびやかな交響曲第 41 番《ジュピター》を録音した際、彼の長年にわたる歴史的演奏実践の研究によって培われた、活気に満ちてコントラスト豊かな解釈により高い評価を得ました。この交響曲を携え、カタルーニャ出身の指揮者であり、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者、そして研究者でもあるサヴァールがベルリンフィルの舞台に初めて登場します。今回のコンサートでは、そのほかにラモールの祝祭的な組曲《ナイス》、グルックの革新的なバレエ音楽《ドン・ファン》という 2 つのバロック作品が演奏されます。

上記の他に下記が演奏されました。

ジャン＝フィリップ・ラモール 組曲《ナイス》（ジョルディ・サヴァール編）

クリストフ・ヴィリバルト・グルック バレエ《ドン・ファン》

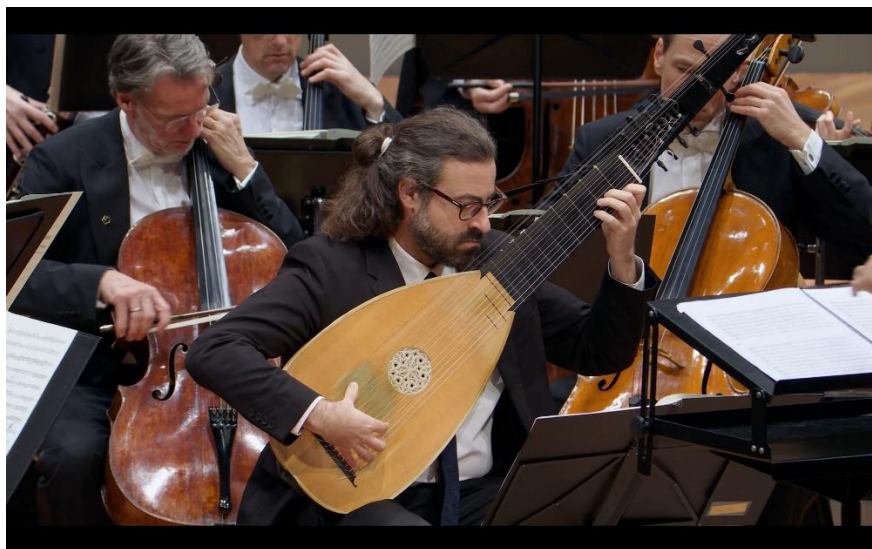
ラモールの組曲《ナイス》は、ベルリンフィルのフルオーケストラに古楽器が加わり、フランスバロック音楽のスケール感のある華やかな演奏です。

グルックのバレエ《ドン・ファン》は、これもフルオーケストラに古楽器が加わります。グルックはバロック時代のオペラの改革者とされていますが、演奏されたバレエ音楽

は、華やかにバレエを盛り上げるような曲です。

モーツァルトの交響曲第 41 番ハ長調《ジュピター》は、お馴染みの曲で、宗教者のような風貌のサヴァールの淡々とした指揮ながら、爽やかで歯切れのよいモーツァルトです。

LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、ベルリンフィルであまり聴けないラモーやグルックとお馴染みのモーツァルトの新鮮な演奏が聴けました。



以上